

インマヌエル中目黒キリスト教会

2014年3月2日聖日礼拝

使徒の働き連講②④

「目からうるこ」

使徒の働き 9章

8 - 20節

竿代照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

使徒の働き 9章 8 – 20節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp224~/ 第三版の聖書はp244~

- 8 サウロは地面から立ち上がったが、目は開いていても何も見えなかった。そこで人々は彼の手を引いて、ダマスコへ連れて行った。
- 9 彼は三日の間、目が見えず、また飲みも食いもしなかった。
- 10 さて、ダマスコにアナニヤという弟子がいた。主が彼に幻の中で、「アナニヤよ」と言われたので、「主よ。ここにおります」と答えた。

- 11 すると主はこう言われた。「立って、『まっすぐ』という街路に行き、サウロというタルソ人をユダの家に尋ねなさい。そこで、彼は祈っています。
- 12 彼は、アナニヤという者が入って来て、自分の上に手を置くと、目が再び見えるようになるのを、幻で見たのです。」
- 13 しかし、アナニヤはこう答えた。「主よ。私は多くの人々から、この人がエルサレムで、あなたの聖徒たちにどんなにひどいことをしたかを聞きました。

- 14 彼はここでも、あなたの御名を呼ぶ者たちをみな捕縛する権限を、祭司長たちから授けられているのです。」
- 15 しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人是我の名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、我的の選びの器です。」
- 16 彼が我的の名のために、どんなに苦しまなければならないかを、わたしは彼に示すつもりです。」

- 17 そこでアナニヤは出かけて行って、その家に入り、サウロの上に手を置いてこう言った。「兄弟サウロ。あなたの来る途中、あなたに現れた主イエスが、私を遣わされました。あなたが再び見えるようになり、聖霊に満たされるためです。」
- 18 するとただちに、サウロの目からうろこのような物が落ちて、目が見えるようになった。彼は立ち上がって、バプテスマを受け、

- 19 食事をして元気づいた。サウロは数日の間、ダマスコの弟子たちとともにいた。
- 20 そしてただちに、諸会堂で、イエスは神の子であると宣べ伝え始めた。

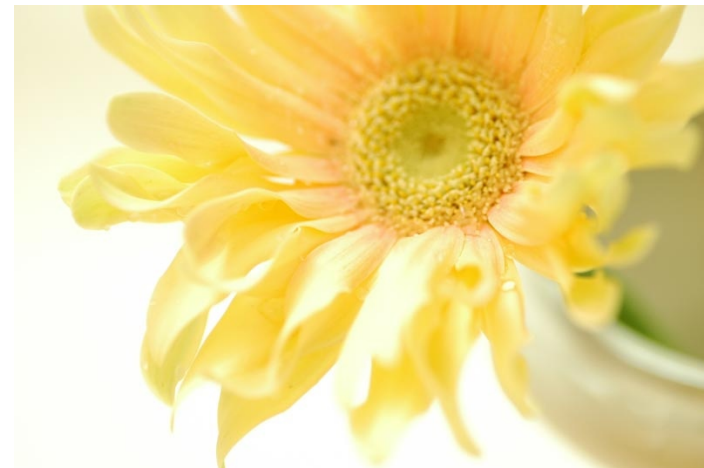
説教

使徒の働き連講②④

「目からうろこ」

使徒の働き 9章 8 - 20節

竿代照夫 牧師



主テキスト

「するとただちに、サウロの目からうるこの
ような物が落ちて、目が見えるようになった。

彼は立ち上がって、バプテスマを受け、
食事をして元気づいた。」

(使徒9:18-19)

A. 盲目となったサウロ(8-9節)

1. 目は開いているが何も見えない

2. ダマスコ市街へ(地図参照)



B. アナニヤの登場(10-16節)

1. アナニヤへの命令:「サウロを訪ね、手を置いて祈れ」(写真参照)



2. アナニヤの反論:「サウロは、超危険人物」

3. 主の答え:「サウロは、私の選んだ器」
(26:17-18)

C.目が開かれたサウロ(17-20節)

1. アナニヤの按手:サウロの召しの確認
(22:14-16)
2. サウロの開眼:目から鱗が落ちる
3. バプテスマ
4. 宣教開始:「イエスは『神の子』(メシヤ)」

終わりに

私たちの目の鱗は何か？